

2023年9月19日
株式会社日立製作所

as a Service 型 IT プラットフォーム EverFlex from Hitachi の展開加速
ハイブリッドクラウドソリューションのポートフォリオを拡大し、
パブリッククラウドとシームレスに連携可能なオンプレミス基盤を提供



as a Service 型 IT プラットフォーム EverFlex from Hitachi

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、as a Service 型 IT プラットフォーム EverFlex from Hitachi (以下、EverFlex)において、ハイブリッドクラウドソリューションのポートフォリオを拡大し、パブリッククラウドとシームレスに連携可能なオンプレミス基盤を本日より順次提供開始します。

具体的には、これまで提供してきた高信頼なデータ基盤を中核とした IT プラットフォームと、金融や社会インフラなどミッションクリティカルな基幹システムのクラウド活用で培ってきたシステムインテグレーションや運用の知見・ノウハウを、「仮想化基盤」「ワークスペース基盤」など 10 種類のポートフォリオに分類し、展開します。お客さまは、パブリッククラウドとの連携で顕在化する課題に応じ、これらのポートフォリオから各種サービスを選択することで、適切な as a Service 型 IT プラットフォームを迅速かつ柔軟に利用でき、課題を解決できます。また、SRE(Site Reliability Engineering)の手法に基づき、システム全体の可視性向上や運用自動化を支援する Hitachi Application Reliability Centers(HARC)を組み合わせることで、変化し続けるお客さまのアプリケーションも含めたクラウド運用の継続的な改善を支援します。

日立は、今後も、EverFlex のポートフォリオを強化・拡大していくとともに、ニーズが高まる生成 AI 活用においても、機密性の高いデータを保護しつつ、パブリッククラウドと安全・安心・シームレスに連携できるオンプレミス基盤を実現し、お客さまの持続的な成長に貢献していきます。

■背景

昨今、企業が激しい市場競争に勝ち残るには、顧客情報などの機密性の高いデータを柔軟に活用し、顧客ニーズに対応した商品やサービスのタイムリーな市場投入によるビジネス展開が必要です。加えて、生成 AI の登場により、ビジネス環境の変化はさらに加速しています。そのために、企業活動を支える基幹システムにおいても、パブリッククラウドとシームレスに連携可能な新しい技術をオンプレミス基盤に取り入れつつ、業務環境を整備することが急務となっています。しかし、これを実現するには、基幹システムや新技術などのさまざまな分野に関する専門的な知識やスキルに加え、多大な時間と労力が必要であるという課題が顕著になっており、このような課題を解決するサービスが求められています。

■EverFlex の強化内容

オンプレミス基盤をパブリッククラウドとシームレスに連携するには、レガシーからの脱却、ハイブリッドクラウドの活用、開発・運用環境のモダナイゼーションなどのフェーズにおいて浮上する複雑な課題を解決する必要があります。これらの課題の解決に向け、日立がこれまで提供してきた高信頼なデータ基盤を中核とした IT プラットフォームと、ミッションクリティカルな基幹システムのクラウド化におけるシステムインテグレーションや運用で培ってきた知見・ノウハウを分類し、ポートフォリオを 10 種類に拡大しました。お客さまは課題に応じて、これらのポートフォリオから、各種サービスを選択・利用することで、迅速かつ柔軟に課題を解決できます。

マイグレーション	モダナイゼーション	セキュリティ	データ保護	ロケーション
<input type="checkbox"/> レガシーマイグレーション <input type="checkbox"/> 仮想マシン移行 <input type="checkbox"/> データベース移行 <input type="checkbox"/> アプリケーション移行	<input type="checkbox"/> OSSプロフェッショナルサービス <input type="checkbox"/> クラウドAPI管理ソリューション <input type="checkbox"/> DevOps	<input checked="" type="checkbox"/> マネージドセキュリティサービス <input checked="" type="checkbox"/> DDoS対策サービス <input type="checkbox"/> 脆弱性診断	<input type="checkbox"/> データ暗号化 <input type="checkbox"/> ランサムウェア対策 <input type="checkbox"/> バックアップ	<input checked="" type="checkbox"/> ファシリティ提供 <input checked="" type="checkbox"/> ホスティング提供 <input checked="" type="checkbox"/> クラウドコネクト
データ基盤	仮想化基盤	パブリッククラウド連携	ワークスペース基盤	ミッションクリティカル基盤
<input checked="" type="checkbox"/> ハードウェア基盤(サーバ/ストレージ/ネットワーク)	<input checked="" type="checkbox"/> 仮想化基盤 <input checked="" type="checkbox"/> コンテナ基盤 <input checked="" type="checkbox"/> Azure Stack HCI <input checked="" type="checkbox"/> HCI(VMware vSAN)	<input checked="" type="checkbox"/> VSP on cloud <input checked="" type="checkbox"/> VMC on AWS <input checked="" type="checkbox"/> コアクラウド	<input checked="" type="checkbox"/> 統合クライアント <input checked="" type="checkbox"/> Azure Virtual Desktop <input checked="" type="checkbox"/> セロトラスト	<input type="checkbox"/> 高信頼サーバ(AIX/高信頼Linux) <input type="checkbox"/> ミドルウェア
 as a Service型 ITプラットフォーム EverFlex from Hitachi				
<small>凡例 ■ as a Service提供済 □ 提供済みプロフェッショナルサービスを順次as a Service化 : 追加ポートフォリオ VSP: Virtual Storage Platform VMC on AWS: VMware Cloud on AWS 主要サービスを掲載。順次拡充。</small>				

EverFlex のポートフォリオ

同時に、パブリッククラウドとのシームレスかつセキュアな連携の強化に向け「仮想化基盤」を拡充するとともに「ワークスペース基盤」を追加します。

- ① 仮想化基盤：「Red Hat OpenShift Container Platform^{*1}」と、日立が培ってきた技術やノウハウで、パブリッククラウドとのシームレスな連携を可能にするコンテナ基盤を追加します。また、オンプレミス基盤での効率的な運用を支援^{*2}、運用負担の低減とコスト適正化も可能にします。

^{*1} 業界トップクラスの Kubernetes(コンテナの操作を管理・自動化するためのオープンソース・ソフトウェア)を活用したハイブリッドクラウドアプリケーションプラットフォーム

^{*2} 2023 年度 4Q サポート予定

- ② ワークスペース基盤：ワークスタイルの多様化が進む中、ゼロトラストや Microsoft 365 などの活用でセキュリティリスクを軽減するワークスペース基盤を実現します。パブリッククラウドとのセキュアな連携を可能にするとともに、クライアント端末の紛失や盗難時のデータ自動消去による情報漏えい対策なども備えています。さらに、基盤全体の運用や監視は日立が実施するため、運用負担を最小限に抑えることができます。

■ EverFlex from Hitachi の強化に関する価格と提供開始時期

今回強化した内容	価格(税別)	提供開始時期
仮想化基盤 コンテナ基盤 - Red Hat OpenShift Container Platform 提供ソリューション	個別見積	10月2日
ワークスペース基盤	個別見積	10月16日

■ EverFlex from Hitachi のホームページ

ハイブリッドクラウドソリューション

https://www.hitachi.co.jp/products/it/everflex/hybrid_cloud.html

■ 関連リンク

Hitachi Application Reliability Centers(HARC)サービス

<https://www.hitachi.co.jp/cloud/service/harc/index.html>

■ 商標注記

- ・EverFlex は、Hitachi Vantara LLC の商標または登録商標です。
- ・Red Hat、および OpenShift は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.およびその子会社の商標または登録商標です。
- ・Microsoft、Azure、Microsoft 365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・VMware、VMware vSAN、VMware Cloud on AWS は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。
- ・AWS は、米国および/またはその他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の登録商標または商標です。
- ・AIX は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の登録商標もしくは商標です。

■Hitachi Social Innovation Forum 2023 JAPAN での紹介について

本ソリューションは、日立が 2023 年 9 月 20 日(水)～21 日(木)に開催する「Hitachi Social Innovation Forum 2023 JAPAN」での展示「イノベーション創生」において、ご覧いただけます。

詳しくは、オフィシャルサイト(<https://www.service.event.hitachi/regist/>)をご覧ください。

■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。お客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエネルギー&モビリティ」、幅広い産業でプロダクトをデジタルでつなぎソリューションを提供する「コネクティブインダストリーズ」の事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお客さまや社会の課題を解決します。デジタル、グリーン、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。2022 年度(2023 年 3 月期)の連結売上収益は 10 兆 8,811 億円、2023 年 3 月末時点で連結子会社は 696 社、全世界で約 32 万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください

■お問い合わせ先

株式会社日立製作所 クラウドサービスプラットフォームビジネスユニット

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
